

【基本目標】元氣な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ 【重点戦略課題】さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

現 状 と 課 題

参 考 デ ー タ

■ 大学等研究機関の集積

- ・ 市内には、北大を中心として大学や研究機関の集積が進んでいる。特に「北大北キャンパス」と呼ばれる地域は、北海道産学官協働センター（コラボほっかいどう）、北海道立の試験研究機関、研究成果活用プラザ北海道が立地し、今後も最先端の研究ゾーンとして研究機関の集積が進むことが予想される。
- ・ これらの大学や研究機関に蓄積されつつある研究シーズ（「知」）を活用することによって、多くの産業分野での発展が期待できることから、今後さらに産学官の連携を積極的に進めることが課題となっている。

■ IT関連産業の振興と今後の活用

- ・ 本市では、1980年代以降、高い成長が見込め、他産業分野と結びつくことで新たな産業が生まれる可能性を秘めた情報関連産業の振興に力を入れており、現在では「サッポロバレー」と呼ばれるまでにIT系企業の集積が進んでいる。
- ・ 今後は、IT産業自体が経済のグローバル化にも対応可能な高い競争力を身につけるとともに、デジタルコンテンツやバイオなどのITを活用した新たな産業分野の創出・育成、ITを活用した既存産業の高度化、豊かな暮らしの実現を図るため福祉や環境など生活に密着した分野でのITの活用、などを進めていくことが課題となっている。

■ デザインの活用と地場製品のブランド化

- ・ デザインは身の回りにあるインテリア、服、建物など、あらゆるものと密接にかかわり、生活に豊かさと潤いをもたらす、「ものづくり」を進めるうえで、他の製品と差別化を図り、価値を高めるなど重要な位置を占めている。
- ・ 市内産業全体の活性化を図っていく上では、これまで個々に開発、製造されてきたさまざまな製品を、デザインを切り口として横断的に束ねることにより、高い付加価値とブランドイメージを構築するなどの新たな戦略が必要となっている。

